

## 多彩な顔ぶれがそろいました

### 「市民の会」と「団体」のパイプ役



第2期市民の会では、新たに団体から推薦された会員が参加しました。今後の活動の中で、団体推薦の会員は各団体と市民の会のパイプ役という大切な役割を担うことで、活動成果も期待されます。そこで所属する団体が、どんな活動をしているのかを理解するために、下記項目のアンケートに答えていただきました。(質問内容：活動の内容について 会員数は？ 市民の会に期待すること - 回答は五十音順 - )

#### 麻生観光協会

麻生地域における観光事業の振興をはかり、郷土文化の発展と快適な街づくりに寄与するとして平成13年に創立したもので、麻生川桜祭り、あさお区民まつり、菊花祭などの年間行事の他、観光マップの製作も行いました。

現在は「あさお観光資源の発掘」調査を進行中で、次年度にまとめる事業等を行っています。

法人会員・団体会員約50、個人会員は200名。区民の方が自由に入会できるのは麻生区だけで、他は観光事業等によって結成されているのがほとんどです。

このようなことから、市民の会の皆さんのお知恵をお借りできればと期待しています。

(まちづくり推進部会 碓井 勝次)

#### 麻生区子ども会連合会

子ども会の目的は、子どもに幸せを与えるために会の振興を図り、会相互の親睦、学校・地域・家庭に協力して児童文化の向上、福祉の増進に貢献し、明朗な子どもの社会をつくることです。当会は体育・文化広報・青少年指導者養成・成人指導者・安全教育・JL・SL委員会並びに役員で構成、体育は野球・羽根つき、文化広報はかかしまつり・作品展、青少年は子どものリーダー養成、成人は単位子ども会の育成指導者への勉強会などを行っています。

29単会 - 子ども2,153名 大人616名

これからも市民のニーズに応えられる組織として成長するよう期待します。

(まちづくり推進部会 山崎 優)

#### 麻生区町会連合会

麻生区町会連合会の18年度の主要事業

\*関係諸団体との連携を密にし、明るく住みよい街づくりと地域の振興に努力。\*町会長・自治会長等を対象とした研修会・勉強会の開催。\*要望事項を取りまとめ、関係各機関に陳情。\*麻生区町連だよりの発行。

\*ごみ減量に積極的に取り組む。\*防災訓練の積極的な参加協力と、自主防災組織の未結成町会・自治会の結成。

\*麻生区町会連合会への加入促進運動

麻生区町会連合会加盟町会数：100(41,491世帯)

まだ、数回の会議への参加のみで十分に理解していない部分がありますので、コメントを控えさせていただきます。

〔まちづくり推進部会 今村嘉男〕  
〔市民活動支援部会 金光秀尚〕

#### 麻生区PTA協議会

[学校教育・社会教育の振興]\*校長・会長研修会の開催。\*麻生区PTA活動研修の実施。\*その他必要な活動[専門委員会活動(成人教育・調査広報・校外指導委員会)]\*単位PTAの情報交換を主とし、それに基づいた研修会・委員会を開催。\*バレーボール大会の開催、広報紙「区P協あさお」の発行など。(2面につづく)

区内 16 小学校・8 中学校

皆さんとの連携のもと、次代を担う子どもへのまなざしを持ちながら、区づくりに協力したいと思っています。

(市民活動支援部会 小島 宏)

#### 麻生区文化協会

当会が発足して 12 年になる。昭和 56 年頃、身近に近代的文化施設がほしいという声が高まり、多摩・麻生の学者・音楽家・演劇人などの市民運動もあって昭和 60 年 7 月、麻生市民館・図書館が設立された。運動を通して文化人・芸術家・舞踊家を始め、地域の文化・芸術活動グループが続々と誕生。この活動母体として麻生区文化協会が設立され、個人・団体が 5 領域に所属して活動、文化祭が総合的な発表の場になっている。

141 名

人々が孤独に陥らない人間関係を重視したネットワークを築くことがこれからの地域社会に必要。その際、根底に文化的視点で生きがいのある街づくりの推進を期待したい。

(麻生まちづくり市民の会 橋本 周)

#### 麻生区防犯協会

事業内容 \* 防犯対策の調査研究 \* 防犯宣伝 \* 防犯施設の拡充強化 \* 各防犯団体への防犯活動協力援助 \* 防犯功労者・善行児童の表彰 \* 青少年不良化防止と指導 犯罪の予防検挙の協力援助 \* その他 防犯上必要なこと。

133 (個人・団体) 町会・自治会の代表者・防犯指導委員会・少年補導委員会の正副会長と、特別会員で構成。

市民及び市民の会の皆様のご理解とご協力を得て、『より、明るい・住みよい・安全な街』をめざします。

(麻生まちづくり市民の会 渡邊 辰夫)

#### 川崎百合丘ロータリークラブ

麻生区とその周辺をテリトリーとして、1978 年 5 月創立。毎火曜日の例会(12 時 30 分~13 時 30 分)を年 50 回程度行っています。川崎衛兵が一つの地区としてまとまっています。一業種一人を原則とし、職業を通じて社会に奉仕することを目的としており、地域では、あさお区民まつり、交通安全、防犯運動、そして、消防署のご指導のもと、中学生対象の市民救命士の講習会など様々な活動を行っています。

会員 46 名。

市民の会の皆様のご協力をいただいて、会員が増えればと思っています。

(まちづくり推進部会 碓井 勝次)

#### (財)川崎新都心街づくり財団

麻生区、特に新百合ヶ丘を中心とした民設の財団で、事業内容は、\* 街づくりに関する資料収集と広報活動 \* 街づくりに関する調査研究の実施と受託 \* 市民による街づくり活動の支援と交流 \* 環境に関する調査研究と活動の実施 \* 街づくりに関する文化の創造活動の開発、推進、支援 \* 持続的活性化事業の展開と支援。

賛助会員として 27 名(含法人)

事業内容に市民活動の支援と交流があります。市民の会が、麻生区の環境、文化等を向上させて住みよい街づくりに向け、活きた活動を推進していくならば、正に打ってつけのパートナーといえます。

(まちづくり推進部会 箕輪 進)

#### 青少年指導員会

青少年指導員は町会長・自治会長から推薦され、県知事、市長から委嘱されて、\* 青少年の体験活動の促進。\* 青少年団体の育成と支援。\* 青少年に望ましい地域づくり。\* 青少年に関する相談と対応。\* 青少年に関する調査と情報提供。以上 5 つの柱を活動根拠として青少年健全育成をしています。

指導員 59 名。区内を 3 ブロックに分け、きめ細かな街頭パトロールと全員体制によるパトロールを毎月 4 回実施、非行防止、薬物乱用防止など青少年を取り巻く社会環境健全化活動を実施しています。

麻生区民なら誰でも参加できる開かれた「麻生のまちづくり」の会であってほしい。

(市民活動支援部会 佐藤 昭寿)

#### (株)マイタウン 21

「マイタウンゆりがおか」を 1980 年 2 月創刊。以来、地域密着のフリーペーパーの発行を続けています。現在の『マイタウン 21 あさお』は月 2 回発行、発行部数 7 万部。「人と地域をネットする情報ステーション」をキャッチフレーズに、この町で人々が動いてもらえる情報提供を目指しています。

スタッフは 15 名ほど。

マイタウンは地域密着の地域情報紙として、私は一市民として参加しています。皆さんのように自分たちの町のために何かをしたいと思っている方たちに、必要な情報を提供し、まちづくり活動のノウハウを、よいモデルを通じて示していただきたいと思います。

(市民活動支援部会 岩倉 宏司)

## 部会合同勉強会の実施

はじめが肝心！

活動開始にあたり、7月8日、2部会合同の勉強会を開きました。それぞれ異なる機能を持つ部会が理解しあい、連携を取りながら活動を推進するために、また、第1期からの会員と新規会員とが課題を共有できるようにとの目的から実施されました。勉強会では市民の会の組織についての説



明や部会の報告のあと、意見交換が行なわれました。まもなく企画の検討を経て、活動開始となります。ぜひ、勉強会を生かしていきたいものです。

## 部会活動報告

### まちづくり推進部会

具体的な取り組みテーマを検討しています

#### 中間支援組織としての機能を発揮しながら

今年からの第2期は「まちづくり推進部会」として新たに出発しました。5月の会員総会に続いて開かれた「第1回部会」には、12名の新会員を迎えて、総員37名で発足し、8月までにワークショップを含め4回の部会が開かれました。

昨年度はまちづくり市民の会の特命委員会として活動してきた「麻生まちづくり学校」が、今年度から推進部会の中で活動することになりました。それでこの学校についての概要・全体像についての詳細な説明がなされ、「学校の最終目標は地域活動を支援すること」が提起されました。

その他、\*町会、自治会の活性化とそのための研修会や情報の収集。\*公園の整備、改善（市民のニーズに即した公園にする）そして、公園愛護会の拡大。\*コミュニティづくりの促進。（学校施設を開放して、交流を図る）\*コミバスの導入。\*麻生区に総合病院の誘致。\*防災全般に渡る課題の検討と対応について。

以上のように推進部会のこれからの活動内容・課題について、意見がだされ、「あさお落書き消し隊」や、「葉積緑地整備・保全の活動」に見られるような市民を巻き込んでの「中間支援組織」としての機能を発揮しながら、また、こうした多くの活動を模索しながら、推進部会の活動を進めてゆくことで、意見の一致を見ました。

そのために、次回9月の部会までに「各人の希望する活動」を文書で提出し、これからの「推進部会の活動内容（課題・目標など）」を具体化することになりました。

### 市民活動支援部会

語り合い・方向性を探っています

#### まず支援部会を理解することから

第2期市民の会「市民活動支援部会」は毎月1回、第1水曜日に開催しています。支援部会名簿会員は33名、うち第1期から引き続いて入会した会員は25名でしたが、5月の初顔合わせではガラッと入れ替わった感じがしました。

どんな場合でもスタートは心改まるものです。まずは目標を定め、行動計画を立てる、いや、その前に、中間支援機能を共通認識し、当部会の全体理解から始めるべきだといふ。そしてそのあと何に取り組んだらよいか、意見を集約するまでのプロセスを尊重し、10月にも活動の方向性・テーマ性が固まってくるでしょうと論戦を交わしました。

#### 個々の思いは多岐にわたったが

6月の部会では、部会活動について思いを自分の活動フィールドから一人ひとり語ることになりました。話しの内容はつぎの3つに集約されます。

ひとつは、地域の見守りが大事だとするひとたちです。いま地域がみえない、地域が健全に噛み合っていないとして、地域パトロール、防犯パトロールをしているよ、という。8時と3時に地域が子供を守る八三運動に参加とか、犬と人間のワンマンパトロールに参加しているとか、また長年麻生に居ながら、地域に疎く地域の仕組みから学びたいとか、逆に、地域のことはよく知っているのに、この辺りを手がかりにして何かお役に立てないかというひとたちです。

いまひとつは、これまで培った知識や特技を地域で生かしたいというひとたち。たとえばパソコン能力をコミュニティで生かしたい。花いっぱい運動に表彰されたが、よその地域でも力になりたい。自分の専門分野で惜しみなく活躍したいとするひとたちです。

みつっ目は、学習会・勉強会を開いて市民舌(4面につづく)

動を支援したい、前期実施した達人シリーズを継続し自分たちのグループ活動に役立てたいというひとたちです。

## ワークショップから出された視点

7月の部会では、趣向を変えて、出席者を左回りに3分割、ワークショップ形式で思いを出し合いました。テーマは活動中の団体がいま困っていることは何か、私たちに出来ることは何か。各グループの話の内容は次の通りです。

### 小地域活動への支援(グループ1)

グループ1は、今活動している身近な中から課題を探り出そうということになりました。例えば、麻生区でいま展開している事業で花いっぱい運動、街角美化があり、いま各地域で行われていますが、現場ではいろいろ苦労をしています。ですが意外に副産物というか波及効果がありまして、地域の環境はもとより防災、防犯、地域コミュニティなど各方面にまで関連し、地域に新たな動きが見えはじめています。それだけにまた課題も多く抱えていて、それを聞いて回るという地域調査がひとつあります。また、いま高齢者は遠出はむりだが、近場では不満という買い物傾向がありまして、高齢者の健康支援からくる事業が増加していく。駅まで出掛けるのが楽しみな新百合ヶ丘駅周辺を高齢者の拠点として支援していくのもありますね。また、支援する側の人材の整備・育成も不可欠です など話し合われました。

### 麻生にこんなひとがいるよ(グループ2)

グループ2は、市民活動団体がまず何をして欲しいのか調査しようとなりました。つぎに部会として何をすべきか。自分たちに何が出来るか。例えば先生になって学習会、研修会の講座をもつ。例えば特技を生かしてボランティア活動をする、麻生にこんな逸材がいるよ、といった人材登録リストをつくり、また横断的ネットワーク化のなかで情報を自由に取り出せる窓口をつくっては など話し合われました。

### まちづくりハンドブック継続発行(グループ3)

グループ3は、まず、市民活動団体が何を支援してほしいのか、そのニーズをつかむ調査が必要ということになりました。そして、これまでよく聞く要望として、なんでも相談に乗ってくれる窓口とさまざまな技能を持つ人材を登録した「人材バンク」の設置が必要ということ。また、3年間の活動計画として、ハンドブック制作にふさわしい活動成果を選定し、シリーズ化することなどが話し合われました。

なお、8月の部会で前期のバックアップ部会でどんなことをしたのか、4つの小委員会の責任者から報告を受けまし

た。これで皆さんはおおよそイメージできたのではないかと。そしてこれから、どう整理しヒントにしながら進めていくか、秋口からの活動がたのしみです。

## 7区 虹色 まちづくり



バンジーは、区民投票によって選ばれた中原区の花です。

### その1 中原区まちづくり推進委員会

川崎市各区では、市民の会に相当するまちづくり推進組織が活動しています。各区共通の課題あり、特有の課題ありますが、それぞれの個性がきらりと光る活動を展開している各区を19号からシリーズで紹介していきます。情報交換し、学びあって交流を深めたいものです。1回目は中原区です。

この6月に第4期まちづくり推進委員会が発足したばかり。委員長の竹井齋さんは「私たちの委員会は自転車と共生するまちづくり委員会、なかはら20年構想委員会との連携をとりながら、みんなが元気よく楽しく暮らせるよう『もっとすてきななかはら』を目指して、活動していきます！」と抱負を語っていただきました。

第4期は“人づくり”と“コミュニティのベースづくり”をまちづくりの基礎として進めるとのこと。まちの課題を見つけ、解決する「まちの課題発見・解決部会」、中原区の市民活動を支援する「市民活動支援部会」、そしてもう一つ広報紙やホームページを作成する「広報部会」の三部会で活動を進めます。

-----  
今後の予定 (どなたでも傍聴できます)

運営委員会: 9月11日(月) 18時から

市民種加支援部会: 9月6日(水) 13時30分から

まちづくり推進部会: 9月4日(月) 18時30分から

### 編集後記

8月9日は地域において、いろいろな行事があります。盆踊り、敬老の日の集い、運動会など地域行事がつづきます。

地域社会という場合は、コミュニケーションを育む場。地域社会の人々とかかわる努力をしているまちづくり市民の会を広報紙を通して皆様とのコミュニケーションが計れればと考えております。(岡島優子)